藤　沢　市　の　概　要



令和８年１１月

藤沢市議会議会局

市　章

（市制 10 周年を記念・昭和 25 年 10 月 1 日制定）

（平成 30 年 4 月 1 日全部改正）

市 の 木

（昭和 45 年 10 月 1 日制定）



クロマツ

市 の 花

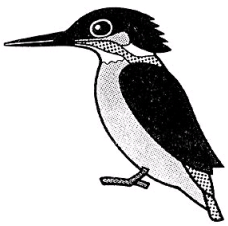
（昭和 45 年 10 月 1 日制定）



フ　ジ

市 の 鳥

（平成 4 年 10 月 1 日制定）



カワセミ



「キュンとするまち。藤沢」
公式マスコットキャラクター
ふじキュン♡

1　藤沢市の成り立ちと特徴

本市は、神奈川県の南部中央に位置しています。地勢は、市域を東西に走る国道１号線付近を境として、北は標高 40mほどの相模野台地、南は湘南砂丘と呼ばれる平地に二分され、最南端に江の島があります。相模湾に面した、気候温暖、風光明媚な自然環境に恵まれたまちです。

市域の面積は、69.56k ㎡で、東京からは 50km 圏内にあり、ＪＲ東海道本線、小田急江ノ島線、江ノ島電鉄線、湘南モノレール、横浜市営地下鉄ブルーライン、相模鉄道いずみ野線などの交通の便に恵まれています。

藤沢のまちは、鎌倉時代の終わり頃、第４代遊行上人の呑海（どんかい）が遊行寺（ゆぎょうじ）を創建し、全国を巡る遊行の重要拠点となりました。「藤沢」の地名が記録に現れるのはこの頃からです。江戸時代には、1601 年（慶長６年）に東海道五十三次の６番目の宿場として藤沢宿が設置され、江の島詣の足場として賑わいました。

明治以降は、農村地帯を背後に控えた商業の中心地となり、1887 年（明治 20 年）に東海道本線藤沢駅が開設された頃から湘南海岸が避暑地として注目されました。鵠沼・片瀬・江の島は別荘地・海水浴場となり、さらに江ノ島電鉄線、小田急電鉄江ノ島線の相次ぐ開通もあって発展してきました。

1908 年（明治 41 年）４月に藤沢町となり、1940 年（昭和 15 年）10 月１日には市制を施行、その後 1955 年（昭和 30 年）までに近隣の町村を合併し、現在の市域となりました。1960 年代に入ると、経済の高度成長を背景に北部を中心に数多くの工場を誘致し、工業都市としての性格を強めていく一方、1970 年代には、各地に商業施設が進出し、湘南地域の商業の中心地となりました。また、本市の西部、そして北部地域の開発が進むにつれて、多くの人々が移り住み、次々と新しい市街地が形成されてきました。

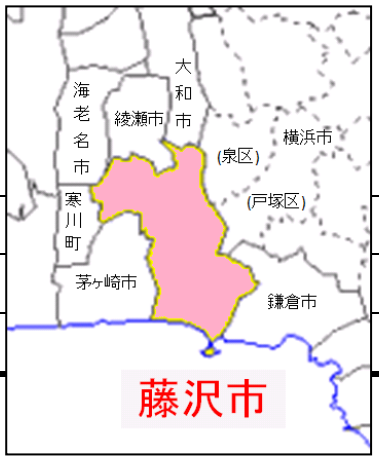
門前町、宿場町としてまちの第一歩を踏み出した本市は、首都圏近郊の観光・保養・住宅地として、また工業・商業都市として発展し、さらに図書館や体育館などの文化施設、大学などの教育施設の立地が進み、学園・文化都市としての性格も加わり、多種多様な機能を持つ都市となっています。

このように、本市は、古いまちと新しいまちが、それぞれの歴史と特性を持ちながら、ひとつの都市を形づくり、湘南地域の経済、文化の中心的都市として発展しています。

2 藤沢市の概況

市制施行	1940年（昭和15年）10月1日
人口	442,956人（2026年4月1日現在）
世帯数	206,528世帯（2026年4月1日現在）
面積	69.56ｋｍ^2
東西距離	6.55ｋｍ
南北距離	12.00ｋｍ
海岸延長	5.239ｋｍ
姉妹・友好都市	・アメリカ合衆国　マイアミビーチ市 ・長野県　松本市 ・中華人民共和国　昆明市 ・カナダ　ウィンザー市 ・大韓民国　保寧市（ポリョン市）
市の木	クロマツ
市の花	フジ
市の鳥	カワセミ





3 産業別就業者人口（令和２年国勢調査）

第一次産業	1,999人	1.0%
第二次産業	41,742人	21.1%
第三次産業	147,873人	74.7%
分類不能	6,464人	3.3%
総数	198,078人	100.1%

※小数点第２位で四捨五入

4 職員定数　（令和８年４月１日現在）

区分		定数
市長部局の職員	一般職員	2,139人
	市民病院職員	950人
議会局職員		15人
教育委員会事務局その他教育機関職員		248人
選挙管理委員会事務局職員		9人
監査委員事務局職員		9人
農業委員会事務局職員		6人
消防職員		465人
合計		3,841人

5 令和8年度当初予算の概況

（1）会計別総括表

会計別		予算額（千円）	前年度比（%）
一般会計		191,981,000	96.4
特別会計	北部第二（三地区）土地区画整理事業費	3,241,749	105.3
	墓園事業費	523,329	71.9
	国民健康保険事業費	38,158,847	99.4
	介護保険事業費	36,611,585	100.9
	後期高齢者医療事業費	9,699,449	112.5
	特別会計の計	88,234,959	101.3
公営企業	下水道事業費	23,031,444	110.0
	市民病院事業	28,545,064	106.5
合計		331,792,467	－

（2）歳入の内訳（一般会計）

区分		予算額（千円）	構成比（%）	前年度比（%）
自主財源	市税	90,456,000	47.1	101.1
	分担金及び負担金	1,687,825	0.9	121.2
	使用料及び手数料	3,319,753	1.7	98.4
	財産収入	690,325	0.4	87.3
	寄附金	1,715,448	0.9	137.7
	繰入金	7,573,310	4.0	125.3
	繰越金	2,000,000	1.0	100.0
	諸収入	3,777,795	2.0	91.2
依存財源	地方譲与税	850,896	0.4	92.7
	利子割交付金	141,000	0.1	207.4
	配当割交付金	1,002,000	0.5	136.5
	株式等譲渡所得割交付金	1,394,000	0.7	114.2
	法人事業税交付金	1,211,000	0.6	107.1
	地方消費税交付金	11,230,000	5.9	105.1
	ゴルフ場利用税交付金	21,000	0.0	116.7
	環境性能割交付金	1	0.0	0.0
	地方特例交付金	813,600	0.4	169.9
	地方交付税	150,000	0.1	150.0
	交通安全対策特別交付金	41,000	0.0	75.9
	国庫支出金	37,295,899	19.4	103.7
	県支出金	15,699,148	8.2	116.4
	市債	10,911,000	5.7	148.7
合計		191,981,000	100.0	106.1

（3）歳出の内訳（一般会計款別）数値

区　分	予算額（千円）	構成比（%）	前年度比（%）
1　議会費	680,804	0.4	100.4
2　総務費	20,144,763	10.5	92.1
3　環境保全費	1,967,632	1.0	102.6
4　民生費	90,293,827	47.0	106.1
5　衛生費	21,616,680	11.3	119.5
6　労働費	452,152	0.2	101.2
7　農林水産業費	589,978	0.3	76.9
8　商工費	1,900,783	1.0	111.6
9　土木費	20,476,978	10.7	100.2
10　消防費	7,270,857	3.8	124.1
11　教育費	17,774,341	9.3	118.2
12　公債費	8,712,205	4.5	98.3
13　予備費	100,000	0.1	100.0
合　　計	191,981,000	100.0	106.1

6 財政状況の推移

区　分 年　度	財政力指数 （3 年平均）	実質収支 比率(%)	自主財源 比率(%)	経常収支 比率(%)
令和６年度	1.08	6.9	59.4	94.9
令和５年度	1.05	6.2	61.7	92.3
令和４年度	1.05	6.0	59.5	92.6
令和３年度	1.06	8.0	56.3	92.7
令和２年度	1.08	5.7	48.5	95.5

7 特別職等の給料・報酬

（令和８年４月１日現在）

区　分	給料・報酬額	改正施行年月日	改正前
議　　長	690,000 円	平成 15 年 10 月 1 日	703,000 円
副　議　長	610,000 円	〃	622,000 円
議　　員	565,000 円	〃	576,000 円
市　　長	1,064,000 円	〃	1,084,000 円
副　市　長	893,000 円	〃	910,000 円
教　育　長	766,000 円	〃	754,000 円
代表監査委員	690,000 円	〃	703,000 円

8 議員数　（令和８年４月１日現在）

条例定数　36 人　　現員数　36 人（うち女性　10 人）

現任期　令和５年５月１日 ～ 令和９年４月 30 日

9 議員構成

（１）会派別名簿

（令和８年９月１１日現在）

会　派　名	氏　　名	人　員
市民クラブ藤沢	○佐賀　和樹　　小池　恵子 石井　世悟　　西　　智 桜井　直人　　町田　輝佳 栗原　貴司　　松長由美絵 石川　麻央　　☆山口　政哉 井上　裕介	11 人（2）
民主クラブ藤沢	○竹村　雅夫　　大矢　　徹 柳田　あゆ　　安田　景輔 須田　一行　　★安藤　好幸 谷津　英美	7 人（2）
湘風維新無所属の会	○甘粕　和彦　　佐野　　洋 吉松　巳希　　西川　誠志 友田　宗也　　有賀　正義	6 人（1）
藤沢市公明党	○塚本　昌紀　　松尾　宏之 今井みきこ　　平川　和美 東木　久代	5 人（3）
日本共産党藤沢市議会議員団	○柳沢　潤次　　土屋　俊則 味村耕太郎　　加藤　彩野	4 人（1）
アクティブ藤沢	○原田　　建	1 人（0）
無所属藤沢	○森井健太郎	1 人（0）
藤沢・凛新の会	○神尾　江里	1 人（1）

（会派名は多数会派順、氏名は会派代表者を除き議席番号順。○：会派代表者　☆：議長　★：副議長　人員の（ ）：女性の人数）

（２）党派別議員数　　（令和８年４月１日現在）

自由民主党	公明党	日本共産党	立憲民主党	日本維新の会	国民民主党	無所属
7（0）	5（3）	4（1）	2（2）	2（1）	1（0）	15（3）

（ ）は女性の人数

（３）年齢構成別議員数　　（令和８年４月１日現在）

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	平均年齢
1	2	12	10	8	3	53.1

（４）当選回数別議員数　　（令和８年４月１日現在）

１回	２回	３回	４回	５回	６回	７回	８回	９回
12	8	4	5	4	1	1	0	1

（５）委員会別議員数・令和７年度開催日数　　（令和８年９月１５日現在）

会議名	定数	現員数	任期	令和７年度開催日数
総務常任委員会	9	9	１年	４日
厚生環境常任委員会	9	8	１年	５日
建設経済常任委員会	9	9	１年	４日
子ども文教常任委員会	9	9	１年	４日
補正予算常任委員会	11	10	１年	７日
行政改革等特別委員会	12	12	１年	１日
災害対策等特別委員会	12	12	１年	３日
藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会	12	12	１年	１日
予算等特別委員会	18人以内		設置期間	１０日
決算特別委員会	12人以内		設置期間	７日
議会運営委員会	10	9	１年	３８日
広報広聴委員会	11	10	１年	１２日

10 議会関係予算（令和８年度当初）

（１）行政視察旅費　４，６２６千円

① 常任委員会　　１人当たり　年額　９３，１００円

② 議会運営委員会　　１人当たり　年額　５５，４００円

③ 議会改革推進会議　１人当たり　年額　５５，４００円

（２）費用弁償

平成１７年度から廃止

（３）政務活動費　一人月額　１０７，０００円（令和５年５月１日から）

（４）議会・議長交際費　　１，４００千円

11 議会局の組織

議会局長 ┬ 総務課長 ― 課長補佐１人（1）― 主査２人（1）
　　（参事兼務）　　└― 担当１人（1）
　　（会計年度任用職員）

└ 議事課長 ― 主幹１人 ― 課長補佐１人（1）― 主査３人（2）
　　└― 担当５人（3）
　　（うち　会計年度任用職員１人）

定数 15 人　現員数 15 人　　（　）内数字は女性の人数